

① 東北薬科大学の実績 参考資料1



昭和14年創立、75年の医療人養成の実績

- 卒業生総数—2万名余
- 東北地方の本学出身病院薬剤師の割合48.3%
- 癌研究所設置(昭和34年—私立薬科大学初)
現在は、「分子生体膜研究所」に改組
- 大学院設置(昭和37年—私立薬科大学初)
- 附属病院設置(平成25年—単科薬科大学初)

本学の教育理念

本学は、「われら真理の扉をひらかむ」という建学の精神のもと、以下の三つの教育理念を掲げる

- 一、思いやりの心と高い倫理観を持ち、専門的な知識と能力を兼ね備えた、社会に貢献できる人材を育成します。
- 一、真理の探究を志し、自ら課題を求め自分の力で解決できる人材を育成します。
- 一、友情を育み、人間形成に努めるとともに、国際的視野に立って活躍できる人材を育成します。



東北薬科大学

薬学科(6年制、収容定員1800名)、
生命薬科学科(4年制、収容定員160名)、
大学院薬学研究科

附属病院

22診療科、466病床

文部科学省GP事業等採択実績

- ハイテク・リサーチ・センター整備事業(平成17年度～)
- 学術フロンティア推進事業(平成18年度～)
- 学生支援推進プログラム(平成21年度～)
- 戦略的研究基盤形成支援事業(平成22年度～、平成24年度～)

科学研究費獲得実績

	教員数	件数	金額 (千円)	件数/ 教員数
平成25年度	118	38	105,762	0.322
平成24年度	113	35	92,693	0.310
平成23年度	113	36	91,794	0.319

② 東北医科薬科大学構想

ミッション: 東北地方の復旧・復興の核となり、
地域医療を恒久的に支える医学部

構想の特色

① 卒業生を地域に定着させる方策
地域医療に対する使命感と熱意ある
学生を修学資金により支援する

- 宮城県が新設する基金による修学資金
(学費総額相当額)
—50名
- 本学独自の修学資金(学費総額の1/2)
—20名
- 既存の修学資金

※合計70名以上地域定着

卒業後

③ 地域医療教育と研修・キャリア
アップ、地域定着、医師派遣
<非公開>との連携

地域医療ネットワーク



<非公開>

② 地域滞在型の特色ある
地域医療・災害医療教育

- ②-1 地域医療教育・実習の拠点
★ 石巻地域医療教育サテライトセンター
- ②-2 地域医療ネットワーク

③ 石巻地域医療教育サテライトセンター 参考資料4



被災地の中心に位置し、甚大な被害を受けた石巻市立病院



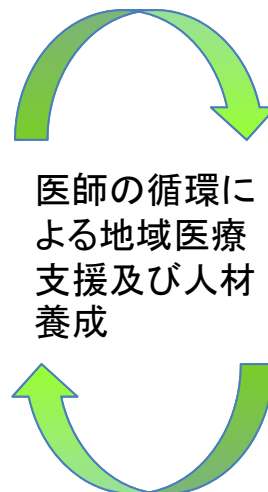
被災沿岸部に直結する高速道路の出入り口に近接し、地域医療・災害医療の拠点としての機能と高度先端医療機能を併せ持つ附属病院

6診療科、180病床 「石巻市立病院復興計画」より

サテライトセンター（病院内に設置を予定）

サテライトセンターの主な役割

- (1) 地域医療・災害医療教育の拠点
 - ・地域滞在型の臨床実習
- (2) 地域医療への貢献
 - ・常駐する医師による医師不足が深刻な沿岸地域への後方支援
- (3) 人材養成
 - ・卒前、卒後、生涯教育を通じ、地域に根ざす総合診療医の養成
 - ・附属病院、サテライトセンターを含むネットワーク病院間の循環によるキャリア・アップ



附属病院

附属病院の主な機能・役割

- (1) 地域医療支援病院
- (2) 地域がん診療連携拠点病院
- (3) 高度先端医療

④ 地域医療ネットワーク(宮城モデル) 参考資料5

地域医療ネットワーク

- ①東北医科薬科大学病院(22診療科、466病床)
- ②
- ③
- ④ <非公開>
- ⑤
- ⑥



地域医療ネットワークの機能

1. 地域医療見学・体験等を通じて学生の地域医療に対する理解を深めさせる。
2. 初期研修は、①本学独自の制度によって入学した学生については附属病院で、②宮城県が設立する修学資金制度の貸与を受けた宮城県卒学生は、本ネットワーク病院での初期研修を原則とする。この初期研修2年間の中に、本ネットワーク病院を複数含めることができるものとする(最長9ヶ月)。
3. 後期研修は、本ネットワーク病院での研修を推奨する。必要に応じて、複数のネットワーク病院で高度医療を学び、スムーズなキャリア・アップのためのシステムとして活用する。
4. 医学部設置に伴い、少なくとも現在の2倍以上の医師が、本学附属病院に勤務することが見込まれる。地域医療ネットワークを通じて、附属病院に勤務する医師を地域病院へ積極的に派遣することにより、地域医療を支える。

※ 他の東北5県については <非公開> を通じて、ネットワーク形成を行う

⑤ 教育カリキュラムの特徴 様式1(2)②4~5ページ



医学教育分野別評価基準拠
国際水準準拠の臨床教育
(臨床実習 76週)

診療参加型臨床実習
(クリニカル・クラークシップ)



地域滞在型の
地域医療臨床実習
・石巻地域医療教育センター
・地域医療ネットワーク病院

医学教育
モデル・コア・
カリキュラム

地域医療を担う
総合診療医の養成
地域包括医療

地域医療ネットワーク



特色ある救急・災害医療教育
・被災地石巻サテライトの活用
・独自の放射線生体影響、被ばく
医療講義・見学・実習
緊急被ばく医療演習



女川原子力発電所
PRセンター、
オフサイトセンター

⑥ 地域医療・災害医療教育概要 様式1(2)②5ページ、参考資料8-2,3

6年間を通じた切れ目のないカリキュラムのもとで、地域医療・災害医療に係る総合的な診療能力を修得

1年		2年		3年		4年		5年		6年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎教養 (17科目15単位)		社会医学(10科目10単位)									
	医療コミュニケーション学 衛生学	地域医療学	介護・在宅医療学 公衆衛生学		医療管理学 災害医療学 高齢者医学						
準備教育 (9科目7単位)		基礎医学 (22科目35単位)		臨床医学 (34科目80単位)		基礎臨床統合演習				臨床総括講義 (52単位)	
	基本事項 (7科目8単位) 放射線基礎医学										
医学英語 (1-3年計3単位)						共用試験		課題研究 (6単位)		卒業試験	
早期医療体験学習Ⅰ	放射線基礎医学体験学習	僻地・被災地医療体験学習	介護在宅体験学習	救急・災害医療演習	災害医療体験学習	基本的診察技能	臨床実習 (大学病院全科2週間ローテーション) (50単位)		地域医療臨床実習 (地域医療機関 (8単位))		
早期医療体験学習Ⅱ	チーム医療体験学習	基礎医学実習		基礎医学実習	被ばく医療体験学習	緑色: 地域医療関連科目 黄色: 災害・放射線関連科目		総合診療学演習 (PBL) (8単位)			
情報科学実習	衛生学体験学習										
基礎理科実習 (物理, 化学, 生物)	基礎医学実習										

地域医療・災害医療関連カリキュラム

- ◆石巻地域医療教育サテライトセンター実習
- ◆地域医療ネットワーク病院での体験・実習
- ◆被災地、人口過疎地域における地域医療のニーズに関する学習

放射線関連見学・実習

- ◆女川原子力発電、オフサイトセンター見学
- ◆ <非公開>
- ◆原子炉事故時の対応シミュレーション(訓練)